

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(145)、(178)」

2. 日時：令和5年7月13日(木) 16時05分～18時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官※、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官※

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長
他7名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年6月21日に受領済み>>

- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
00:00:04	はい、規制庁地震津波の鈴木ですそれでは時間になりましたので浜岡原子力発電所の
00:00:11	地震、プレート間被害の地震による津波のヒアリングを始めたいと思います。資料お世話少し6月ですかね、大分前に、資料はいただいてましたけど
00:00:22	地震以外の方のヒアリング、こちらを進めてましたので、地震プレート間以外の地震のヒアリングは今回が前回会合からの1回目という形になります。
00:00:33	資料はなので2点ですかね補足含めていただいています。ちょっとその確認、説明いただいて確認入るまでに1点だけ。
00:00:46	もう、
00:00:47	その会合資料もいただいているので、そちらでも結構ですけど、地震以外の補足説明資料の、
00:00:54	87 ページですかねパラメーター表。
00:00:59	ちょっとこれも会合資料のところ、対象と乱丁落丁なのかなと思って一旦ちょっとお伺いをしてたところもあるんですけどこのパラメータ表なんですけど、
00:01:08	ちょっとこう数字が入ってるものを、実際に多分計算式が右側にあって、確認していくと、何かあるものだなものがあるなっていう視点で見えてたんですけど。
00:01:19	この S24 地点ですかね、多分何か四捨五入との関係でもあんまりこうなるのかなっていうところがあって、
00:01:26	S4 地点の曲率半径 R ですかね。
00:01:30	これ。
00:01:31	式を見ると、B2 乗 08t なので、ここ 5320 をして、8×890 なんです、T がですね。
00:01:42	ハック 720 で割っても、何かあまりこの数字にならなくてですね。
00:01:46	ちょっとこの辺って一応ちょっとどこのけた列車後にて映るのかってのもあるのかもしれないんですけど、もっとここ間違っていないかっていうところだけ、確認させてもらっていいですか。
00:02:04	はい。中部電力の盛です。今 5C 適用いただいている審査会合資料の補足説明資料の 87 ページ。
00:02:13	ということで S4 地点も含めて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:18	数字の確認というのはしてございますんで、数字自体は間違っていないというのを確認しているんですけども今議論に挙げていただいています。曲率の半径。
00:02:29	いえだとかっていうところの数字の設定根拠として、All、
00:02:35	使っている江藤厚さですね地すべり厚さの90という表記が、実際にはそのエクセル上で管理している、生データとしては92というような数字を持ってまして。
00:02:48	ここをこちらに転記するときの表記上他の
00:02:54	厚さとの関係もありまして、9910というふうにならなくなってしまいうんですけど表記をしていると、そこで計算が合わなくなっているというふうの確認をさせていただきます。
00:03:04	はい。以上です。
00:03:08	はいそうすると、例えばこの地すべりは、伝えても上の長さとかでもいいんですけど、
00:03:14	打つ上のだからDIS滑り長澤これは100のぐらい荷重の位を、
00:03:21	切り上げて100にしてこれはということなんですかね。ちょっと1個1個全部はもちろん見ないんですけど、それぞれちょっとどう、どこかの桁を四捨五入表記で、
00:03:32	上に上げていて、解析上は生のそのを四捨五入してない数字で解析が進められていて、最後、初期水位が出てくる。
00:03:42	ということで、数字としては間違っていないってということですね。
00:03:49	はい。中部電力の森です。読み取り等はコンサル会社から上がってきたものは用いてまして納品されている数字自体は間違っていないということは確認しております。
00:04:03	はい。はい。半田から上がってきた納品されている。
00:04:07	パラメータ自体も合っているし、そこから点の転記ミスもないっていう、その20がどうして正しいということですかね。はい。ちょっとすみませんわかりにくかったので
00:04:17	そうですね、はいはい。
00:04:19	特にその品質上で何かミスがあるとか、男女落丁があるっていうことが、
00:04:24	ないことだけをちょっと介抱しようだったもんですから、何か乱丁落丁がないかということですのですみせんのための確認。
00:04:32	はい。中部電力浜野でございます今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:35	衛藤。
00:04:37	そういう評価の結果の間違いと非常に大きな影響になりますのでしっかりと、我々としても、中身は確認しておりますちょっと数字の丸め方のところが、
00:04:46	わかりにくいというところになっておりまして、以後その辺りもしっかりお伝えできるようにして参りたいと思います。
00:04:56	はい。のちのち残るものなので、双方双方ですね、あとトレースできるような形にしといてもらえればと思いますすいません冒頭ありましたけど、
00:05:07	ではですね本来のヒアリングということで、地震による津波ですねこちらの説明、
00:05:13	中部電力の方からお願いします。
00:05:18	はい、中部電力の尾川です。
00:05:20	プレート間地震以外の地震による津波についてご説明をさせていただきます。
00:05:25	5月26日の日に、1152回審査会合におきまして、評価方針について審査いただいております。審査効率化の観点から、先行してコメントいただいておりますので、その点も踏まえて、
00:05:39	コメンエっと、資料の方へ修正しております。その点を中心にご説明をさせていただきます。説明時間につきましてはおおよそ10分程度になります。それでは担当の方から説明します。
00:05:51	はい。中部電力の加藤です。
00:05:53	浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち、地震による津波について、前回審査会合資料からの修正箇所について説明いたします。資料右肩に270万という数字がついた資料で説明させていただきたいと思います。
00:06:08	まず9ページお願いします。
00:06:16	9ページと10ページには、プレート間地震とその他の地震の組み合わせに関する考え方をお示ししては、9ページには、評価において考慮する、同時発生の様式について示しています。
00:06:28	上の箱書きですが、
00:06:29	一般に地震はプレート運動によりプレート間やプレート内部の断層において、応力ひずみが蓄積していき、それが局所的に蓄積できる限界を迎えた際に、断層で破壊が発生し、
00:06:41	それが断層上を伝播する現象です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:44	ここで、別の地震の同時発生には、津波を発生させるような大規模な地震ほど、あらかじめ断層において、応力ひずみがほぼ限界まで蓄積していることが必要と考えられることを踏まえると、
00:06:56	大規模なプレート間地震の地震動、もしくは地殻変動によって、
00:07:00	別の大規模な地震が同時発生し、それらの津波が重なり合う可能性は非常に非常に低いと考えられます。
00:07:08	一方、宇和版に発達した付加体を有する南海トラフの特徴として、プレート間地震の津波が、プレート境界から、付加体中に枝分かれする分岐断層に伝播する可能性があることが知られています。
00:07:20	そこで、プレート間地震とその他の地震の組み合わせの検討にあたっては、地震発生のメカニズムに照らし、プレート間地震の地震動、
00:07:28	もしくは地殻変動による別の地震の同時発生は考慮せず、プレート間地震の分岐断層等への破壊伝播による同時発生を考慮することとしました。
00:07:39	次の 10 ページには、破壊伝播による同時発生の検討対象とする津波発生要因についてお示ししています。
00:07:47	付加作用が卓越する沈み込み体である南海トラフの宇和番は、主に付加体で構成されています。
00:07:53	左の図のように、付加体中において確認されている分岐断層は、過去のプレート境界断層から派生したものと考えられており、現在のプレート境界断層は、付加体の発達に伴って沖合に前進しています。
00:08:07	このように、宇和盤の付加体及び付加体中の分岐断層は、付加作用が卓越する南海トラフの特徴であり、プレート間地震の破壊が分岐断層に伝播する可能性があると考えられることから、
00:08:20	これを考慮した津波評価を実施します。
00:08:23	これに関連して、同じく宇和盤の付加体中に位置する分岐断層以外の活断層についても、分岐断層とされる知見や地形的特徴はなく、プレート間地震の破壊が伝播する可能性は低いものの、
00:08:35	分岐断層と同じように、南海トラフの特徴である、いわばの付加体中に位置していることを慎重に考慮して、分岐断層と同様に、プレート間地震に伴って破壊することを、
00:08:46	津波発生要因の組み合わせとして検討することとしました。
00:08:50	一方、プレート境界の下盤に位置する海洋プレート内地震は、南海トラフの特徴である付加体や付加体中の分岐断層とは位置関係も異なり、プ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	プレート間地震と海洋プレート内地震とか、同時発生したことが確認された知見や事例もないことから、
00:09:07	津波発生要因の組み合わせとして検討する必要はないと評価しました。
00:09:12	11 ページには、
00:09:14	プレート間地震の破壊伝播に関する知見を掲載しています。
00:09:18	南海トラフや東北沖では、既往津波の再現モデルの検討や、大深度の反射法地震探査、掘削調査等により、プレート間地震の破壊が、
00:09:28	プレート境界浅部や分岐断層に伝播したことが推定されていますが、
00:09:33	プレート間地震の破壊が海洋プレート内地震に伝播したことが確認されている知見はありません。
00:09:39	これらを踏まえ、含めた最新の科学的知見を踏まえて、南海トラフの最大クラスの津波を想定した内閣府 2012 では、南海トラフのプレート間地震と海洋プレート内地震とは、
00:09:51	別地震とし、一体性を持って破壊することは想定しないとしています。
00:09:57	12 ページからは、
00:09:59	東北沖地震後に発生した海洋プレート内地震の事例についてお示ししています。
00:10:04	東北沖では、中央の図の通り、厚い太平洋プレートが急角度で沈み込み、
00:10:10	沈み込むプレートの曲げによって、伸張応力が働く海洋プレート内部の浅い領域において、正断層型の地震が発生しています。
00:10:18	これは海溝軸付近の正断層知見に地形に対応しているとされておりま
	す。
00:10:24	一方で、左の図の通り、南海トラフでは、薄いフィリピンかいプレートが比較的低角度で沈み込み、付加体が発達する一方で、沈み込む海洋プレート内部において、正断層型ではなく、
00:10:37	逆断層型の地震のみが発生しています。
00:10:40	また、海溝軸付近において、正断層地形は確認されていません。
00:10:45	下の黄色の箱書きですが、
00:10:47	南海トラフと日本海溝とは、沈み込む海洋プレートで発生する地震の特徴が異なることを踏まえつつ、
00:10:54	東北沖地震後の海洋プレート内地震の発生事例を確認しました。
00:10:58	13 ページをお願いします。
00:11:02	13 ページには、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:04	東北沖地震以降に発生した M6 以上の海洋プレート内地震の分布と諸元をお示ししています。
00:11:11	本震を最も早いイベントでも、本震発生後約 40 分後に発生していることから、東北沖地震で支配的であった海溝軸付近の津波の周期が 5 分程度であることを考えると、
00:11:23	同時発生し、津波が重なり合った事例ではないと考えられます。
00:11:27	また、この本震後、最も早い時間で発生した地震は、海溝軸付近の正断層型の地震であり、定常的な海溝軸付近の正断層地形の伸張場の影響に、
00:11:39	東北沖地震の影響も重なって発生したと考えられていることから、
00:11:43	海溝軸付近において、正断層型の地震や正断層地形が確認されない、されない南海トラフとは状況が異なっております。
00:11:52	次の 14、14 ページには、
00:11:55	海洋プレート内地震に関する津波評価の方針のまとめをお示ししています。
00:12:01	ページが少し飛びますが 54 ページをお願いします。
00:12:21	54 ページには、海洋プレート内地震の津波評価に関して、ふり沈み込むフィリピン会プレートで発生する地震の断層タイプに関する根拠として、先ほどご説明しました 12 ページの同じ同じスライドを追加しております。
00:12:36	またページが飛びますが 72 ページをお願いします。
00:12:51	と 72 ページには、検討対象とする海域の活断層による地殻内地震に関して、阿部の予測式による津波高の評価結果をお示ししております。
00:13:00	今回、
00:13:02	左下の注釈※3 のところに、阿部の予測式において、海域部の断層長さから M_0 を算定しているという考え方に関する説明を追記しております。
00:13:14	続きまして 82 ページをお願いします。
00:13:26	82 ページですが、こちらはパラメータスタディの設定方法のうち、審査会合でもコメントいただきました滑り角や断層上端深さの根拠ページを、このページ以降に充実化させております。
00:13:39	85 ページをお願いします。
00:13:46	85 ページはまず、御前崎海脚西部の断層体と 518 断層の滑り角のパラメータスタディ範囲の根拠についてお示ししています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:56	御前崎海脚西部の断層体と 518 断層の滑り角のパラスタは、地質調査や既往の地殻内地震に基づく情報がないことから、津波評価上、逆断層タイプとして、
00:14:08	保守的に設定した基準となる滑り角 90° に対して、基準とする値の周辺の滑り角での津波影響を評価するために、 $\pm 10^\circ$ の範囲で検討することとしました。
00:14:20	また左下の図に、御前崎海脚西部の断層体におけるプレートの沈み込み方向と使用力方向滑り角の関係のイメージ図を示していますが、
00:14:30	検討対象とする活断層が分布する領域では、大規模な地殻内地震が発生していないので、既往の地殻内地震の発震機構から、図に示す。
00:14:40	断層位置での主応力方向や断層面上の滑り角を推定することは難しいですが、
00:14:46	南海トラフでは、詳細に観測されているプレートの沈み込み方向によって、断層位置での主応力方向と、断層面上の滑り角は規定されていると考えられます。
00:14:58	そこで、プレートの沈み込み方向を用いた地殻変動解析により、断層位置での弾性変形方向から、断層位置での主応力方向と、断層面上の滑り角を推定しています。
00:15:10	ここでは、左上の図に示す通り、プレートの沈み込み方向の範囲が 284 度から 294 度ということを確認した上で、
00:15:20	右の表の通り、
00:15:21	プレートの沈み込み方向を 284 度から 294 度の範囲で一律に変えた地殻変動量解析を実施し、
00:15:29	断層位置での弾性変形方向から滑り角を推定した結果、
00:15:33	一番右側の列の通り、滑り角の変動幅は $\pm 20^\circ$ 程度以下であり、沈み込み方向を幅広く振ってみても、大きな滑り角の変動がないということを確認しました。
00:15:46	次の 86 ページには、遠州断層系の滑り角のパラスタの範囲についてお示ししております。
00:15:54	上の箱書きの通り、遠州断層系については、地質調査に基づく情報があることから、これに基づいて基準となる滑り角 180° に対して、
00:16:04	$\pm 10^\circ$ の範囲で検討することとしました。
00:16:08	ここで、右上の表に示す通り、地質調査に基づく、同一断層内の場所ごとの水平上下変位量の違いから推定される滑り方向の範囲は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:18	水平面に対してΦ大で7度程度となっています。
00:16:23	また御前崎海脚西部の断層体や英語 18 断層と同様に、プレート境界面の場所ごとの沈み込み方向の違いを考慮して、プレートの沈み込み方向を一律に変えた地殻変動量解析を複数ケース実施し、
00:16:37	断層位置での弾性変形方向から滑り角を推定した結果、
00:16:41	右下の表の通り、滑り角の変動幅は±数度程度であり、大きな滑り額の変動がないということを確認しました。
00:16:50	また次の 87 ページと 88 ページには、
00:16:54	断層上端深さのパラメータスタディ範囲について、音波探査記録等の調査結果に基づく根拠を追加しております。
00:17:02	本編資料に関する追加ページに関する説明は以上になりまして、
00:17:07	もう一つ補足説明資料につきましては今回修正はございません。
00:17:11	資料の説明は以上となります。
00:17:18	はい、説明ありがとうございました。
00:17:21	一応、前回 5 月の会合の前に一通り、5 月の会合で冒頭部分ですかね方針部分のみを扱いましたが、一通り説明があって、
00:17:31	前回の会合ではそのまず組み合わせのところですね、いわゆるプレート内と海域活断層組み合わせるものとの違いと、
00:17:40	いうところを丁寧にというのが 1 点と、あとは方針を伺った限りで、その海域活断層をですね少しパラメータの振り方、これの説明をもうちょっと充実して、
00:17:52	そういうベースで議論しましょうということでした。
00:17:56	なのでですねまずそういった意味で、
00:18:01	9 ページからですかね今し方あったちょっと組み合わせの考え方。
00:18:06	この辺りのところをですね、多分この説明読んで聞いて、多分それぞれごとに少し受けとめというか、
00:18:15	どういう趣旨かというところの理解ですねもしかしたら違うのかもしれないんですけど、
00:18:22	をまず委員会、
00:18:24	あれかな、地すべりのヒアリングのときにも少し所感を申し上げたつもりではあるんですけど、
00:18:33	一応考慮すると、形としては一番右側ですかね 9 ページの、
00:18:38	これは何で分岐断層とほぼほぼ同じ扱い、同じような振る舞い、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:45	をするであろう、この海域活断層毎するであろうとか多分するかどうかは、多分確定的なことはわかってないんだと思うんですけど、ある程度それを否定しがたいってということかもしれませんが、
00:18:57	一応分岐断層がプレートプレート境界がはね上がる時に、それが途中で言えば分岐断層側に移って行って分岐断層は動く。
00:19:07	そうでは分岐断層ではないんだけどほぼほぼ同じ位置にあるようなものについて、
00:19:13	同じような動き、破壊伝播で動きがあるかは、そこはわからないので、それは考慮しますと、
00:19:20	そこだけ見ると何となくとは思うんですけど、一方、ここを前回平出も言ったんですけど、ただ分岐断層の方の扱いは、甲斐をプレーで、金井様。
00:19:31	プレート間地震の評価のときに、一つのモデルとして、
00:19:36	赤井がそのまま分岐断層側に移って行って、当然その裏側のプレート境界は、最後上までは上がらないってそういう1個のモデルで評価しているんですけど、
00:19:50	ただ今回これ津波の組み合わせなので、
00:19:53	ちょっと扱いは違いますよねそこは。
00:19:58	安東いう、そのメカに、大義多分強化としては、もし地震動の継続時間で地すべり組み合わせるんですけど、
00:20:06	ただそうすると地震動の継続時間というと何かまた考え方が違いますよね地すべりは、左側のように、地震の揺れで、
00:20:13	滑るので地震動の継続時間の範囲で組み合わせますと言ってるんですけど、ちょっとその考え方も、
00:20:21	組み合わせのですねやり方もちょっと貼ってるのか合っていないのかってところがわからないんでまずその1点だけ教えてください。
00:20:31	はい。中部電力の森です。9ページのところで今回、プレート間地震と活断層組み合わせる考え方としては、左の二つではなくて、分岐断層があるということも踏まえて一番右側の
00:20:46	破壊伝播が一部、一連の破壊で長谷。
00:20:51	勝断層についても発生するというような考え方については、整理をさせていただきます。で、具体的にはどういうふうに組み合わせるのかということについては、具体的な検討の方法としては、
00:21:04	これまで地すべり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:05	先行サイトで地すべりとの組み合わせで、検討の方法というのが確立されているということも考えまして、
00:21:13	その確立されてる地すべりと同じ方法で検討するということにしております。
00:21:19	で、破壊伝播で1時刻だけで考えるよりは、幅広で保守的な検討方法になっているというふうに考えています。
00:21:32	はい。
00:21:34	多分、
00:21:35	より長い時間を取った方がですね。
00:21:38	それは保守的な評価になるのはそれはそれでわかるんですけど、
00:21:42	今の現状の考えはわかる。
00:21:45	ですね、一応この右側の破壊伝播による、その他の地震の同時発生って言うところという、この内陸地殻内ですね。
00:21:58	これ、考慮しますと言っている、ここの、
00:22:01	これは考慮するんですけど言ってるのと、地震動の方で連動を考慮しますと言っているのは、それは一致するんですか。あれは多分れん。
00:22:10	地震の時ですね。
00:22:12	最終的に影響を聞いてくる断層が別々だっっちゃうのはそれはわかるんですけど、
00:22:17	一応そこは一緒なんですかね。
00:22:21	あれはもう本当に多分、連動する、連動させた地震動評価って形で、あの時は今度来たり同時に
00:22:29	破壊伝播させて評価してっていう形だと思う。
00:22:33	評価の仕方が違うのはそうですけどここは考え方は一致してる。
00:22:40	はい。中部電力の盛です。考え方は一致しているというふうに考えています。衛藤。
00:22:45	補足説明資料の方に震動評価の
00:22:49	考え方のスライドをしております、
00:22:57	75 ページですかね、74 ページ 75 ページで、
00:23:04	内陸地殻内地震として、どういうふうに活断層を評価しているのかと。
00:23:09	ことで、74 ページの方で、
00:23:15	上の箱書きで分岐断層があるよというような地形的な特徴を
00:23:19	説明した上で、その下の箱書きですね、内陸地殻内地震の震源とする活断層プレート境界面の破壊が伝播するということを不確かさとして考慮

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:30	可能性は低いと考えられるということが書いているものの、次の 75 ページで、破壊伝播に係る不確かさの考慮ということで、
00:23:39	考慮していくということを記載しています。
00:23:42	なのでこの考慮する考え方については同じというふうに考えています。
00:23:47	で、71 ページの方で、
00:23:57	活断層に係る地震動評価と津波評価でその考え方と、あとは、検討の方法、
00:24:05	がどうなっているかということも、整理させていただいております。
00:24:10	下側 71 ページの下側の、地殻内地震として考慮する断層に関する評価の検討の方法については、
00:24:20	地震動の方は確かにパラスターみたいなことはやっていないんですけども、短周期ですので、
00:24:26	地震動評価で破壊を伝播させたということで短周期の地震の同斜が重なっているということを確認しています。
00:24:33	一方津波の評価については、やや長周期であるというようなこともありますので、それが重なるようにということで時間差の範囲内で幅広に検討を行ったというような、
00:24:45	ところを、この 71 ページのスライドの方では整理させていただきます。
00:24:52	はいはいあそこは地震動の考え方とはここ部分はあって、
00:24:57	差分上げるのがどこかっていうのはこの、こういう場合はこうでしませんと。
00:25:03	いうもの
00:25:08	まずあれですかね一番左地すべりのほう地震動でということで、
00:25:13	上との上の文章との関係でいくと、
00:25:19	これは、
00:25:23	うん。もともと応力ひずみが蓄積していてそれを発散する時にまあまあ起こるわけなんだから、
00:25:30	地震の揺れによって、
00:25:32	同時に、
00:25:36	いわゆる内陸地殻内であれプレート内であれば起こるというのはこれは考えにかかる考えにくいだろう。
00:25:44	ところで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:46	一方でその右側ですか、なのでちょっとここの部分が先ほど言ったようにその地すべりのほうはこの地震動の範囲、時間の範囲で、組み合わせるって言うてるその手法のところと、
00:25:57	同じ手法をとるといったときに、
00:26:00	あれじゃ何かこのパターンを考えてるんですかっていう、ちょっとそこは混同しやすかったので、先ほど聞いたんですけど、
00:26:07	一方でですね、闇の右側ですかね。
00:26:11	これは、
00:26:13	こういうパターンの地震は起こり、
00:26:16	ない。
00:26:17	と言っているわけではないんですよ、これは。
00:26:22	いわゆる余震みたいなものなので、同時に、そこまでのものを同時に見る必要はないっていうそういう趣旨ですかこれ。
00:26:33	はい。中部電力の森末と9ページで言うと、右側というのは、
00:26:38	ごめんなさいの真ん中ですねそういう真ん中。
00:26:42	あ、はい。中部電力の盛です。はい。真ん中はいわゆる余震の面、メカニズムに近いものです。衛藤。
00:26:49	巨大地震、プレート境界の巨大地震が起こって、それによって周りの応力変化というのが起こると、
00:27:00	地震、
00:27:01	加来氏、地殻内の断層に応力がたまっていたところに、最後の等の応力変化というのがあって、
00:27:09	余震として発生するということが、当然起こり得ることとしては、起こり得ると考えていますけれども、大きな地震ほど、
00:27:19	ひずみをため込んでおくというような準備のプロセスが別途必要になりますので、そこまでを考える必要ないというふうに今回整理しております。
00:27:33	なるほど。
00:27:36	真ん中のパターンは一般論からすれば、プレート間地震。
00:27:41	が起きた後に、応力の変化があって、何かしら余震みたいなものでこういうものが起こるはあるけれども、当然それぞれ組み合わせとなるとそれぞれで、一番のものと組み合わせることになるので、
00:27:53	そうするとじゃあそのポテンシャルがたまっているかと言われると、
00:27:56	そこまでのものはさらにはないでしょうっていうそういうことですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:00	それが上の部分なんですけどねちょっと
00:28:02	し、組み合わせないって言うてるものの、左側地震動の揺れのもの等、いわゆるこの応力変化のものとか、何か完全に 10 日ちに、
00:28:13	書いてあったので、
00:28:15	確かにその同時発生し、重なる可能性が非常に低いっていうところなんか一緒のような、
00:28:21	だという説明なのかもしれないですけど、物事もの事象の起こりとしてっというか、
00:28:26	それは少し差があるのかなと思ってすみません聞いてました。
00:28:33	その上でですね。
00:28:36	何となくそれぞれの差のつけ方はわかったんですけど、
00:28:42	その上で、その後ろ、10 ページからの説明を何を言おうとしているのかということで、
00:28:53	10 ページはこれまで地震のところでも聞いてたような、
00:28:56	話で、これがさすがに海洋プレート内のような、下盤側の、
00:29:01	方では考えられませんか。
00:29:06	あとで、
00:29:06	ちょっとここ 10、
00:29:09	11 とか 12 ですかねこれ 11 ページは、
00:29:13	これは、
00:29:15	内閣府 2012 のところではこれ明確に何かこの右下の点線書きみたいなものって、すみません、
00:29:23	まだ原点当たって正確には見てないんですけど、
00:29:26	どこまで書いてある。
00:29:28	小想定一体性のある連動発生については想定しないこととするまで、
00:29:33	書いてある。
00:29:38	はい。中部電力の盛です。こちら、ゲームままの記載としています。わかりました。はい。
00:29:45	で、その上で次、この東北沖との比較の趣旨ワー
00:29:53	これはちょっとどういう趣旨。
00:29:57	いいですか。ちょっと急に出て、別に、
00:30:00	これがいらないと言うてるわけじゃないんですけど、
00:30:03	ちょっとこう、東北、南海トラフと日本海ごとは違うということも踏まえつつとかっていう形になっていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:12	これは、
00:30:15	一応、
00:30:16	ね、段階トラフとは違うんだけども等言いながら、何か前例という か、類似例を探そうとするところしかないので、
00:30:25	これ多分、プレート間の地震発生直後の、
00:30:28	その後の動きがわかってるところじゃないと調べられないので、
00:30:33	各しゃべってこれ、
00:30:36	あんまり東北大きなんで全然浜岡他場所違うんですけど、
00:30:41	投光器の例えば 40 分後に起こったみたいなものは、
00:30:46	これはどう、そもそもこれはどういうタイプだと、前の 9 ページで言う とどういうタイプなのだと思って情報収集したり整理されてるんすけ ど、これは 9 ページでいうと、
00:30:58	真ん中みたいなもんだと思って整理している。
00:31:02	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通り、真ん中のものとして考えて います。あと、9 ページでいうと、地震動と言われるのは、いわゆる動 的な応力変化、地震動による動力的な応力変化で地震が、
00:31:16	いつ地震が起こるのか。
00:31:18	真ん中のものはどちらかってもう少し、時定数が長めの、
00:31:22	弾性体として、プレート境界を置くことによって地殻がひずんだりして その応力変化で余震的なものとして、起こるのか。
00:31:32	一番右側、そうではなくても破壊自体が伝播して起こるのかというよう な三つというふうに整理しておりまして、
00:31:39	12 ページ 13 ページは余震の事例になりますので、どちらかでこの真ん 中の、地震が起こったことによる、静的な応力変化がいい。
00:31:49	余震に影響を与えて余震が発生してるというような事例の整理をしてお ります。
00:31:56	はい。
00:31:58	はい。ちょっと 13 ページの見方というか
00:32:02	行目ですかね 5 目の終わりから、海溝軸付近の正断層型の地震でありの 後ですかね、定常的な海溝軸付近の正断層地形を、
00:32:13	伸張場の、
00:32:15	影響に、
00:32:18	て言ってる部分は、これは、
00:32:23	古井、まだ応力変化の影響を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:27	は受けてない多分、
00:32:29	プレート間の
00:32:30	日本海溝の上とか、地震があろうがなかろうが、普段起こり得るような伸張場、
00:32:37	の影響に、
00:32:39	ただ他その時に遠く沖の地震の影響も重なっていった後者があれですかね。
00:32:45	いわゆる、
00:32:47	9 ページで言うところの真ん中の地殻変動による、これを示唆している類似事例だと。
00:32:53	そういうこと、読み取り方をすればいいのかなこれ。
00:32:58	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りです。13 ページのところに少しポンチ絵、青、
00:33:05	遠田先生のをちょっと綺麗につけておりますけれども、もともと、
00:33:10	前のページでもお見せているように伸張場ということで正断層型の地震が、投光器で起こるような場である。
00:33:19	で、
00:33:19	それに対して東北沖地震の赤い矢印で地殻変動の影響があって、最後の等になって余震として、40 分後の地震なんかが起こったんじゃないかと。
00:33:30	というようなことが、この尾花や遠田 2011 等では言われているというものです。で、
00:33:37	衛藤。
00:33:39	いたり、
00:33:40	側の方に衛藤メカニズム統合地震発生からのメカニズム解を書いておりますけれども、
00:33:47	基本的にはこの海溝軸寄り添あたりで起こっているようなものっていうのは、正断層型の地震になっていまして、ナンバー1 の 40 分後のものも含めて、東方沖ではそういうものが起こっていると。
00:34:00	一方で南海トラフでもともと正断層型の地震が起こっているわけではないので、同じようなメカニズムではないというふうに考えています。
00:34:08	以上です。
00:34:11	はいはいはい。何で 13 ページのトーク記念ってのはもともと起こった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:16	ているようなものが、
00:34:18	これはより起こりやすくなって、当然、311の後ですね。
00:34:24	その以降も余震として何かは、起きてますよと。
00:34:29	ただ南海トラフの方はそもそもが0ですか。
00:34:34	正断層でなくて逆断層型なんですけど、
00:34:38	コースを、もし、南海トラフの方ですよこれ、巨大地震が起きた後って、これは、
00:34:45	もしですよ、9ページでいう真ん中みたいなタイプのものが起こっても、それはやっぱり、
00:34:50	逆断層型なんですかね。
00:34:58	はい。中部電力の盛です。実際に起きた時どうかということはあるんですけども、今、南海トラフの沖合で確認されている断層で正断層タイプってのではないということは、確認、
00:35:10	されております。
00:35:12	で、40分後の話も13ページの中段には記載をしていますけれども、
00:35:20	津波の周期が5分程度だということも考えると、40分後に発生しているということ自体も、重なった事例ではないというふうに考えて、
00:35:34	はいはい。
00:35:35	なるほどね一応これもして、
00:35:39	はあ。
00:35:45	猫で。
00:35:51	はい。
00:35:52	ちょっと。
00:35:54	ここまでのところで、
00:35:56	後でまた戻ってきても全然結構ですけど、どんプレート内の確認する時にも同じようなところまた戻ってきそうだとするので、
00:36:05	何かある方いますか。
00:36:31	よろしいですかね。はい。
00:36:33	中部電力の杉行ってですか。最初、鈴木さんおっしゃられた
00:36:39	活断層出す時に地すべりと同じようにその時間ずらしてやるとかいうお話ってのは、我々の車、
00:36:48	組み合わせの中で書くのかなあというつもりで言ったのですけど。
00:36:55	今回、その辺りも追加したい方がいいのであれば、追記はさせている考え方と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:03	先ほど盛がご説明したように、長周期のものであるので、当然、破壊伝播によって起きるんでしょうけど、地すべりと同じように、
00:37:15	時間差を見て、
00:37:17	組み合わせるつもりですというところ、足しておいた方が、後段で議論になってしまうぐらいなら入れた方がいいかなというふうに考えておるんですけど。
00:37:28	いかがですか。
00:37:29	なんでちょっとまさに、一通り、
00:37:32	聞いたらその話をしようかなと。
00:37:34	思っていますね。
00:37:36	先ほど補足にもあるよ、ちょっと資料上なんでこの資料の一連の中に入れて方がいいのか、ちょっとコメント回答として、部分的に、
00:37:47	この辺気切り出して、組み合わせのところでの方針で出た
00:37:53	指摘へのコメント回答なんだけれども、多分組み合わせ結果を持ってくるときにコメント回答すると。
00:38:01	その先全部ずれますよね。
00:38:03	だからその部分のコメント回答だけ先に持ってきましたと。
00:38:07	組み合わせの一部その計算の過程とか、一体計算入までの間の検討、それをもうちょっと、
00:38:16	オープンにせよみたいなコメントも指摘もあったかと思うんですけど多分あれは、結果持ってくる時じゃないと説明できないと思うんですけど、この基本方針のところなんで、
00:38:25	ここだけ切り出しましたと言って、コメント回答施設ですね、多分補足説明資料にあるような地震動の時にはこういうことでやっていて、津波の時には、多分同じベースとしては同じような考え方で、
00:38:39	この
00:38:40	破壊伝播による、
00:38:41	組み合わせというのは考えるんだけど、ただやり方としてはこういう考え方なの。
00:38:47	違いがあってっていう、そこはね多分別に切り出して今おっしゃったような
00:38:51	なぜ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:53	この範囲内の時間の範囲内で組み合わせるやり方をとるのかとか、そこから辺はパッケージで説明いただいた方がいいというかぱっとここを見9ページを見ると、
00:39:04	ちょっとこんがらがるといような気がしますね。
00:39:07	中部電力青野でございました。
00:39:09	ありがとうございます。確かにそうですねそのところで、
00:39:12	組み合わせと時間差のところの考え方も地すべりと合わせていきますっていうご回答さしていただいてそれで、税の可否なのかまた審査で、
00:39:22	ご議論いただいた方が、
00:39:24	後からやったら違うっていう話になってもいけない。特にここって考え、評価の考え方のところですので、
00:39:32	ちょっとそういった形でええと、
00:39:34	コメント回答を切り出してその中で、
00:39:39	どういうやり方を考えてるか、その考え方も整理した上で、ご説明できるようにいたします。
00:39:49	はい。あわせて、
00:39:52	ちょっとこの9ページの考慮しないっていう多分結論としては、パターンは同じなんでしょうけども、片や余震としては起こり得るもの、
00:40:03	と。ただ一番左側のパターンってどうなんですかね、あんまりちょっとこの部分がなかなか知識、
00:40:10	多分津波というよりも、多分もうちょっと地震学的なところの人にも我々聞いてみ、もう聞かなきゃいけないのかもしれないんですけど、
00:40:18	ちょっと地震動が作用して、この地震動によって起こるパターンっていうのが、
00:40:23	これは、
00:40:26	真ん中の余震タイプ、応力変化による余震みたいなもので起こるものと違ってこれはないんだっていうのは、
00:40:33	そういうもんなんですかね。
00:40:36	多分期かなりの規模感のものが起こらないっていうのは多分それは自明なんだと思うんですけど、一般論として地震の揺れそのもので、
00:40:44	近く影響を受けた範囲内で何か、
00:40:48	断層が動くっていうのは、これはないっていうことなんで、
00:40:53	ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:40:54	なかなかないものについては文献も何もないので、これ単なる知識がないだけの、
00:41:00	質問なんですけど、ちょっとここの部分は、
00:41:03	少し色合いが違うんだったら、
00:41:06	押し丁寧に書いてあげないと、何か真ん中みたいなパターンはこれは、規模は別にしてですよ、これは起こり得る話だろうとかっていって、
00:41:16	ここも、もし、この9ページで最初にパッと見た時の受けとめ方がちょっと人によって違うのかなあと。
00:41:24	何か認証で、真ん中のパターンって別に地震としては起こり得るよね。
00:41:31	何かこれで一番左のもの等な扱い。
00:41:34	メカニズムとしては同じなのかな。はてなっていうのがついてしまったんで、
00:41:39	ここもちょっとやっぱり丁寧に書いてあげたほうがいいかなと。
00:41:46	なんで、ちなみにやっぱ左のパターンみたいなものはこれはないですかね。
00:41:56	はい。中部電力の森です。右も左も実験数とか動的なのか静的なのかは別として動的応力、応力変化。
00:42:06	は発生します。で、
00:42:09	また津波を発生させるような大地震が、応力変化、例えば地震動の応力変化で遠くの、
00:42:17	別の地震が発生するのかっていうと、
00:42:21	それだけで発生するってことはまずないと思っていて、
00:42:26	当然ひずみをため込んでいるというような前提があった上で、
00:42:31	起こるといことなので、確率、確率というか、
00:42:36	可能性ってのは非常に低いというふうに考えています。で、一方で地すべり、あえて比木左側切り出しの地すべりとの関係があって切り出しておりますけれども、地震地すべりは、
00:42:46	何かその貯めるというのは準備作業が動作が必要なくて、強震動がある程度大きく起これば、発生すると。
00:42:53	いうところで、直接的にそれだけを原因として起こるといことと、別の地震といことであればそれだけではなくて、ひずみの蓄積の時間というのが、
00:43:05	必要といことなのでそこは切り分けられるのかなというふうに考えています。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:12	中部電力浜野でございます。今ちょっと守屋説明したようなところが、
00:43:17	確かに地震動と地殻変動って、動的な応力変化なのか静的なのかっていうところ、もう少し丁寧に書いて、事象としてはそういう違いで応力変化で起きるってことはつまり、
00:43:29	もう貯金されてないとそれでは起きませんよねという、一般的な話として書いているというところがもう少し読めるように、
00:43:40	丁寧に記載のほうを考えていきたいなと思っております。
00:43:44	はいはいはい。わかりました。なんでこれ、9ページの一番左側もこれも度応力変化ではあるわけ。
00:43:51	それが何による応力変化かっていうそのこの違いで、
00:43:57	真ん中のパターンみたいなものはより良く知られている次第のパターンも起こらないわけではない。
00:44:04	ということですかね。
00:44:06	はい。起こらないとはいえ、当然今当然入れないということですか。ただ基本的によく知られてるのはもう真ん中のパターン。
00:44:13	そうですね。特にね東北で起こってるようなああいうプレート内の、先ほどの13ページのカバーでも、まさしく右翼言われるパターンですよねただ一方で、
00:44:24	そういうところっていうのは、津波が同時っていうファクターで考えれば重ならないっていうことだと思ってますちょっとその辺りも、しっかり読めるようにしておきたいと思います。
00:44:36	あとその時にその津波の波が、
00:44:41	例えば津波の波って別に周期が長い、多少永石さらに高何%も来るわけなんで、そのぬな津波の波が時間として重ならないっていう趣旨で言ってるのか。
00:44:52	須賀にそこまでのものを、
00:44:54	余震レベルのものを組み合わせるという考えは、多分、これまで地すべりを組み合わせたような考え、いわゆる一番右側のパターンです網じゃないか、左側のパターンだったり沿ったり、或いは今回あえて分岐断層と同じように、
00:45:08	考えたようなパターンとは、そこは市も違うだろうっていうちょっとどっちの考えなのかは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:45:14	また明確にしてもらいたいと思いますけど。はい。はい。承知しました。ちょっと事象として起こりにくいということを伝えつつ要は津波の組み合わせという観点に置いたらもう、
00:45:26	それが時間がずれるのでないですというところ、どっちを修正率で言ってるかっていうのも読めるようにちょっと記載の方、検討して参ります。
00:45:37	はい。多分その津波の波が収まるか収まらないかっていうと、多分そこはまた、それぞれのサイトごとというか新波源ごと、
00:45:48	うん。区長で、いや5分10分でおさまるところもあれば1時間2時間に、
00:45:52	長く、
00:45:54	かかる場合もあるだろうかっていう措置でいくならですけどね。
00:45:58	ていうところもあるので、ちょっとそこら辺もどっちで
00:46:03	これをここまでは重ねないっていう考えなのかも明確にしてもらえればと思います。
00:46:08	はい。
00:46:12	そうするとちょっとここは、地震以外の要因による津波っていう山は
00:46:19	組み合わせの部分でもですねコメント回答の一部に杭切り出した部分になりますけど、
00:46:27	ここまで、
00:46:28	よろしいですかね。
00:46:30	よろしければ、
00:46:37	今回すいません、地震による津波の、
00:46:42	どっちだ。
00:46:45	あれ。
00:46:50	はいヨープレートない、ないじゃん。
00:46:56	すいません今回足してきたページは、
00:47:02	あれ。
00:47:29	はい。すいません。成長すべきですけど、
00:47:32	今回は一応その滑り角のところですかねこのパラスタの範囲を、
00:47:38	押し考え方をかみ砕きましたということで85ページが、御前崎投影時518で、
00:47:48	これは
00:47:50	情報が少ないので基本となるものは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:53	逆断層タイプで一番保守的になるような、
00:47:58	だろう。
00:48:00	90度、
00:48:01	そこからプラマイ 10度の範囲で検討します。
00:48:05	でそのプラマイ 10度に行っている金京香。
00:48:09	これが 85 ページで検討している。
00:48:17	沈み込む方向の違いを考慮して少し増え、検討してみると、この変動幅がプラマイ 20 度程度以下なので、
00:48:25	滑り角の FLIP 振り幅はプラマイ 10 度にしましたと。
00:48:31	次のページが、86 がこれが因習断層系でこれも、
00:48:37	基準とするなる滑り角は違うんですけど、
00:48:40	範囲はプラマイ 10 取って、
00:48:43	それはなぜかという、
00:48:46	これも同じように検討した、滑り角の変動幅がほとんどない。だからプラマイ 10 度って、
00:48:56	何か結論はプラマイ 10 度なんだけど、
00:48:59	何かその理由が、
00:49:01	86 ページのほとんど滑り角に変動がないっていうと、85 ページの、20 度程度以下なんでっていうところ、
00:49:10	何か根拠に差はあるんだけど、結論が、
00:49:14	同じというふうに見えるんですけど。
00:49:17	この辺りは、特に 85 ページの方ですかね。もともととする。
00:49:22	基準すべきか 90 度自体が
00:49:25	呼吸、とかく自体が 90° で設定しているの、
00:49:29	ことなのかもしれませんが、
00:49:32	何か何か振り幅が何でこれの、
00:49:34	85 と 86 のですね検討で同じになるのかなっていうのはちょっと腑に落ちないんですけど。
00:49:41	もう少し詳しく教えてもらって、
00:49:45	はい。中部電力の盛です。85 ページは 16 ページともに、1 ポツ目の方で、根拠というか、設定の考え方を記載しています。2 ポツ目の方は今回検討して、前回から追加させていただいたもので、
00:49:59	今回設定した滑り角の振り幅が妥当なのかというような観点で、検討を追加したものになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:07	で、85 ページですと 1 ポツ目ですね。
00:50:13	私も地質調査でどう水平にずれているとか、既往の地殻内地震がどうだったかというような情報が、南海トラフのこの断層についてはありませんので、津波評価上だ、逆断層タイプとして保守的に 90° に設定して いて、
00:50:27	そこから、
00:50:29	多少、滑り角を振ったときにどうなるのかということも当然押さえておく必要があるということで、±10° 2 の範囲で検討するというような、まずはここは保守的な 90° とそれに対して少し幅を見るというところで、
00:50:42	考えを記載しています。で、今回、その設定したプラス前の 10 度っていうのが、いいのかというようなことの確認としまして、2 ポツ目の方ですね、
00:50:54	沈み込み方向が多少変わっ違うというようなことを考慮して、一律に変えたときに、滑り角がどうなるのかというようなことも検討しています。で、
00:51:06	今やっているのはこの左側の図、左上の図ですね、通すプレートの沈み込み方向がこの範囲のエリアだと、284 度から 294 と。
00:51:16	2、
00:51:17	場所によっては変わっているということを踏まえて、一律に、この範囲を
00:51:24	2 度ずつ変え、
00:51:26	沈み込み方向一律に変えていくとどうなるかというような検討をやっているというのが右側の図になります。で、
00:51:35	変動幅自体は、20 度程度以下ということなんですけども大きな変動がないということを確認したというふうにしています。
00:51:44	で、次ページも、
00:51:47	同じように、1 ポツ目で設定の根拠ということを書いています。こちらは地質調査に基づいて、水平の変位量と上下の変位量の情報が、
00:52:00	ありますので、これを基準に
00:52:05	水平方向に卓越しているというふうにされている、遠州断層系の滑り角の 180 度に対して、それ、右上の図ですね、これはいる以前もお示ししてるものですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:17	最大でも水平対して7度程度ということでこれを包絡するように±10棟の範囲で設定をしています。
00:52:25	で、同じようにその決定結果の妥当性ということで、プレート境界面の場所ごとに、沈み込み方向がちょっとずつ変えたときに、どうなるのかと。
00:52:36	いうことを検討した結果、
00:52:38	遠州断層系についてはそんなに大きな滑り角の変動がないということを確認しているというものでございます。以上です。
00:52:48	はい。
00:52:49	なるほど。はい。
00:52:51	まず
00:52:52	基準となる滑り角を設定して、
00:52:56	そこにプラマイ10度というのは、それをまず決めた上で、
00:53:01	そのあとから、そのジュウドでよかったのかっていうのを確認してらって話なんですけど、そうするとこの、
00:53:08	プラマイ10度の範囲って、これは、
00:53:11	何に基づいて、
00:53:13	いる、特にそこまでって一土木学会で何か書いてあるわけではない。
00:53:19	でしたっけ土木或いはそこで何か例示されてるやり方とかで、
00:53:23	1まで御社でプラマイ10度ぐらい振っておこうっていうの、そこは御社ど、独自という言い方は変かもしれませんが一旦制定したっていうことですか。
00:53:33	さらに、その
00:54:03	何でするのでこのプラマイ10度っていうところ自体、
00:54:07	これはどこかで何か書かれている振り幅ですかっていうことで、
00:54:12	はい。中部電力の森井です。85ページの方は、もうまず保守的に90度って設定してますのでそこに対して、どこまで振り幅を見れば十分。
00:54:25	上限が抑えられる最大が抑えられるのかというような観点で、
00:54:28	まずは±10°で設定しているというものです。で、90ページの方で例えばということで、
00:54:37	今一番影響の大きい御前崎海脚西部の波源モデルについて、水位上昇側のパラメータスタディの結果を載せております。で、
00:54:47	こちら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:48	赤でつけているものが今選ばれているもので、傾斜角としては、基準プラス 10 度で、滑り角としては、基準か、基準プラス 10 度。
00:54:58	で、断層上端深さがそれぞれ選ばれているというものです。で、
00:55:04	ある程度決め打ちでプラス前の中でやってますので、その外側がどうなんだということは補足的に確認をしまして、
00:55:12	プラスマイナス 20 度まで、補足的に実施した結果として最大のところが抑えられているというところを確認しています。
00:55:20	ちょっと今回、多田衛藤、85 ページの方でも、プレートの沈み込み方向を変えてみたらどうかというところで、
00:55:31	大きな滑り角の変動はないってことはちょっと書いたんですけども、20 度という数字も出しているという関係もあって、きちんと 20 度まで、まずはみんなやってみるという方が説明性は高いのかなというもの。
00:55:43	ことを、
00:55:45	ちょっとこの資料出した後、考えております。で、説明性の向上という観点で、この二つの方を論拠として設定をしていくと。
00:55:56	いうことも考えて、現状考えているところではございます。以上です。
00:56:06	はいはい。
00:56:06	不正工事。
00:56:11	すいません。どういう考えでここを設定してるのかと。
00:56:17	いうのははい。
00:56:20	趣旨はわかりました。
00:56:24	もう一つがどれだと。
00:56:26	あれだと、
00:56:28	あ、ごめんなさい、あえて上がります。
00:56:31	調整過程ありました。
00:56:33	或いは上がってない。
00:56:35	あ、すみません。だからです。
00:56:37	ちょっと違和感を感じたんですけど。
00:56:40	説明性向上じゃなくて安全評価上の観点から、パラメータサジの妥当性、パラメーターの範囲の妥当性を確認してく段階で、
00:56:51	これを、
00:56:52	何て言うのかな、超える値で、変動幅の検証値が出たのであれば安全評価上の観点からしたら説明性向上ではなくて安全性向上、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:02	安全性の観点からして、それをパラメータとして取り入れるっていう考え方に何でならないんですかってのはちょっと、
00:57:11	意味がわかんなかったんですけど、
00:57:14	そこら辺ちょっと説明お願いします。
00:57:19	中部電力天野でございますすみませんちょっと言い方が、伝えていくという
00:57:24	等、先ほど盛がご説明。
00:57:26	さしていただいた通りで 20 度程度までであるということでこの 20 度、今 10 度までしか評価結果は、入れておりませんが 20 度まで評価したものを入れさせていただきたいと思っております。今、名倉調整官おっしゃられた通り、
00:57:41	安全評価上、しっかり対応したいと考えてございます。
00:57:51	すみません。
00:57:54	直せと言ったのではなくて、考え方が理解しちゃった。ちっちゃく。
00:57:58	いずれにしてもこれ 20 度まで考慮したとしても、
00:58:02	ここに書いてあるところでは影響しないとなってるんですけどそれ以外のところも含めて、
00:58:08	評価上は影響ないということでよろしいですか。
00:58:12	はい。中部電力天野でございます。評価上は影響がないことを確認してありますがここでパラメーターの範囲を 20 度を
00:58:22	程度いいかと言っておきながらジュウドで止めてあるとその先いって本当に安全評価上、
00:58:28	ちゃんと確認できているのかということになりますので、私どもとしても、この 20 度というところまでの評価結果をしっかりお示した上で、
00:58:39	現在出している評価結果が妥当なものであるという説明に次回のヒアリングまでに変更させていただきたいと思っております。
00:59:07	はい、続いてですね。
00:59:11	谷さん、どうぞ。
00:59:15	ちょっと教えて欲しいんですけど。
00:59:17	今の 86 ページで滑り角のパラメータスタディ。
00:59:22	かな。
00:59:23	領空軸を力方向で、
00:59:26	検討してみましたということなんですけれども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:36	これ機、
00:59:39	あれ何か声がおかしくなってるの。
00:59:41	聞こえてます。
00:59:44	はい、聞こえてますはい。
00:59:47	これ機、断層のます。
00:59:51	その角度は 90° だけでやってるんですよね。
01:00:00	はい。中部電力の盛です。断層の角度を今
01:00:04	基本モデルの断層角度ですべて実施しております。
01:00:08	Iは、
01:00:09	これはあれですかね
01:00:12	プラスマイナス 10 度の傾斜角とかは、特にやる必要はないんですかね。
01:00:20	確認する必要ないですかね。
01:00:23	その辺のちょっと考えを教えてください。
01:00:26	はい中部電力の守屋さん。あまり傾斜角を変えても結果変わらないことも確認しております
01:00:32	そうですかすべてデータとしては次回、きちんと整理して、その上で、±20° の結果も含めてお示しできればと考えています。
01:00:43	これ 80 度とか 110 度とかもやってる、100 度か 100 度もやってて、変わらないってということなんですね。
01:00:52	傾斜角が、
01:00:54	はい。中部電力の盛です。はい。内部的には確認させていただいておりますけれどもちょっと今回、載せているものは基本ケースの結果になっておりますので、次回以降追加させていただきます。
01:01:05	わかりましたはい確認できました。
01:01:10	はい。
01:01:11	ありがとうございます。谷さん今言ってるのは 85 ページの、
01:01:16	この滑り角の検討はこれが 90° の基本ケースのみで、
01:01:21	家のものが表示されているのかやってるのかやってないのかってその話。
01:01:26	後のパラスタ結果とか 96 ページとかそっちは、
01:01:30	こっちはやってますよね。
01:01:32	26、すみません、なんかもうパラスタをやった津波の評価結果の方の話をしてるのかなと思ったけどそうじゃないですよ。
01:01:41	あ、すみません 95 ページの応力場との関係の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:45	90 何ページだと。
01:01:48	85 ですよ、85。
01:01:50	85 ページ。はい。86 ページですね私が知りたかったの、86 ページは、これは 90 度の
01:01:58	ケースこっちは 90° のケースのみの結果が今載っているってことですね。はい。
01:02:04	中部電力、宗、それが確認できました。ありがとうございました。傾斜角が 90° のケースという理解でよろしいでしょうか。
01:02:16	傾斜角が 90 度の
01:02:18	時の使用力軸方向使用力方向に対しての滑り角が出てるってことですね。
01:02:25	はい。中部電力の守屋ありがとうございます。認識同じでした。衛藤。
01:02:30	86 ページのこの右下で
01:02:33	青色で断層の位置での主応力方向が書いてあってそれに対して断層面を決めると滑り角が決まるということなので、多少傾斜を変えれば、滑り角もやや変わるというようなことが、谷さん、ご指摘いただいている。
01:02:46	ところと、
01:02:46	思います。そちらも検討しておりますので、次回以降、あまり変わらないというところも、
01:02:54	ご説明したいと思います。
01:02:56	はい。ありがとうございます。
01:03:09	はいはい。
01:03:12	ちょっと
01:03:14	仕様上、全部書くのか。
01:03:17	例えばここは 90° のケースだけってことで他のものは、
01:03:22	その補足とか参考とかに全部やった結果を載せるのか、これちょっとそこは説明のしやすさとかも含めて考えてもらえればと思いますけどね。
01:03:31	はい。中部電力天野でございます。その辺りも、次回のヒアリングの中で、計算をしておりますので影響確認という形でお示した方がいいのか
01:03:41	一気に全部を示した方がいいのか、ちょっと考えた上でご説明したいと思います。
01:03:50	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:54	今のはその主要なところなんですけど、ただ、前回の方針の会合のときには、だからすべてのパラメーターのうちで、
01:04:04	その時点でここはちょっと気になったよというところを真っ先にお伝えしていたわけでした、
01:04:10	ほかに。
01:04:12	9 とするとですね。
01:04:14	72 ページちょっと変えたのかな。ここは変えたというか補注釈が、
01:04:19	ついていて、
01:04:21	まずはこれ、検討対象の選定ですよ。
01:04:26	ここで
01:04:30	ここで確かに御社の場合は、断層が一部陸に引っかかるものがあったり、シンプルにすべて海にあれば、あんまり悩むことはないんですけど、
01:04:41	一部陸に引っかかるものがあるんですね。
01:04:44	それ、それは多分、
01:04:49	少し変わるのか、今中練習英語 18 御前崎が選ばれてるけど、
01:04:55	一部、断層長さのうち、陸の部分で違う例えば 17 とかですかね。
01:05:01	全体は 15.7 キロだけど、海域部の長さが 8.6 になるとかってこういうもの。
01:05:07	扱いですけど、
01:05:10	これが、※3 で書いてあるんですかね。
01:05:14	規模を
01:05:15	対象たんすが海域で区分した場合は、
01:05:19	地震全体の規模ではなく津波圧に寄与するかいぐ。
01:05:24	用いることとし、
01:05:27	これ
01:05:31	toto と土木学会 2010
01:05:33	これどこまでがその安部の予測式に書いてる話がもしなんか土木学会に書いてるのかもしれないんですけど、
01:05:39	※3 の記載で、阿部の予測値が当然ながら海域で発生した地震規模距離と津波の高さの関係を整理したものであるもので、我が社としては、概観対象となるっていうのは会社としてはなのか。
01:05:52	もともとそういう使い方になっているんです書いてあるんですなのか、これはどっちなんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:01	はい。
01:06:03	こちら※3については、当社としてこのように評価したというものでございます。
01:06:09	阿部の予測式自体は、江藤甲斐キーで発生した地震に対して予測式を作っているもので、こういう陸域、
01:06:19	海域に跨ってる時にどういう評価をするのかっていうのは書かれていないものです。で、評価に用いてる地震の規模、地震モーメントとして何を用いるかということなんですけども、安倍の安くシキイの
01:06:34	考え方を、
01:06:36	考えるには、水をどれだけ界面を持ち上げるのかというところで地震のモーメントを使っていますので、そこを案分するというような考え方で、当社として実施しております。で、
01:06:48	ちょっと他サイト統一、陸域にかかっている齋藤でもこのように、結局バックチェックのときから、このような式用いられているところがあるかと思っております。
01:07:01	はい。以上です。
01:07:07	はい。ここは、そう。
01:07:10	その上で今選ばれているのが、3断層、
01:07:15	で、
01:07:17	これの
01:07:20	御前崎海脚整備、これはもともとのデータもいろいろあるので、
01:07:28	5A18。
01:07:31	これの0断層傾斜角とかというのは、どこで設定したかというところで77ページですかね。
01:07:48	まず基本の傾斜角は、これは御前崎から、
01:07:53	まだおんなじような、配分の逆断層タイプがあるんで御前崎の
01:07:59	大物を守ってきましたってことでここははっきりとした傾斜角っていうのは、
01:08:05	ここはわからないけども御前崎海脚西部の案そのものを、
01:08:09	ものとしては、パラメーターとして持ってきましたっていうそういうことですよねこれ。
01:08:15	うん。
01:08:17	その前提で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:19	後のパラスターですかねどこまで振るのかというところを見ていくとこれが 83 ページになるんですけど、
01:08:27	これは、
01:08:30	でも、ここも結局、
01:08:33	ふい幅もう、
01:08:36	おんなじなんですかね御前崎海脚と同じ範囲。
01:08:40	ちょっとこのあたりが、
01:08:42	もともといわゆる地質調査も小畑さんも含めてですけど、地質地質構造のところ合ってる情報をもとに地震動評価なり、津波評価なりをやって、
01:08:52	いくっていう流れの中で、
01:08:54	何かより情報が少ないところに対して、
01:08:58	基本のケースは同じ、ある程度、何か表についてせざるをえないんですけど、パラスタの範囲がこう同じっていうところが、
01:09:07	ちょっとそれは、
01:09:11	うんと一新思ったんですが一応振ってる幅これは前田海脚の幅をそのまま参考にしましたっていう。
01:09:19	それはそれで説明としてなってます。理解としては、
01:09:25	はい。中部電力の盛です。ご理解の通りです。
01:09:29	77 ページに、先ほど見ていただいた 58 の断層タイプ傾斜角の情報ということで載せてはおりますけれども、
01:09:39	以前活断層評価でご説明させていただいた通り、衛藤、
01:09:43	音波探査や地表踏査、あと反射断面等の結果からは、断層変位自体は確認できていないと、されていないというようなところを、
01:09:55	そこより以深に断層を想定したというのが 5、18 の断層になります。で、
01:10:02	こちら左の図を見ていただくと背斜向斜がずっと連なっているのを見ていただけたらと思うんですけども、同じような、遠州断層系と同じような場で、
01:10:12	できた断層だということを想定として、同じ傾斜角で設定をしているというような考え方でございます。
01:10:21	以上です。
01:10:27	はい。
01:10:28	出た、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:31	あとは、バラスペースパラスタの範囲としては、上端深さですかね。
01:10:37	これか、どこだ。
01:10:42	82 ページの表だと御前崎エンシュウは、
01:10:48	0、2.55、0 から 5 キロで間の 2.5 を取りましたと。
01:10:53	後 18 が、
01:10:55	2、
01:10:56	何か、次は変わらず 2.5 で、
01:10:59	ということで、
01:11:01	この断層変位が認められない範囲を除いて、
01:11:07	設定。
01:11:13	俺は、
01:11:17	坂宗平が認められない範囲を除いた。
01:11:21	深さ 2 キロから 5 キロ。
01:11:26	ちょっと読み方を教えてもらいたいただけなんですけど、
01:11:30	土木学会に基づく深さ 0 から 5 キロの範囲のうち、
01:11:35	断層変位が認められない。
01:11:39	範囲、
01:11:41	ていうのは何、0 から 2 キロで、
01:11:45	それを除いた深さに生きるから 5 キロの範囲で検討。
01:11:54	ていうこと、あれ断層変位が認められない範囲ってというのが、
01:11:58	ヘローキロから 2 キロね。
01:12:01	断層閉範囲が認められないっていうのに、2 キロよりも浅いところにこの A5A18 は断層変異が、
01:12:08	認められないってということですね。
01:12:14	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りです。0 から 5 キロの範囲と いうのをまず、
01:12:19	どっかから持ってきた上で、断層変異がどこまで、上端のところか
01:12:25	あるのかないのかというところで、前田海脚西部遠州断層系と 58 とで 数字が変わっているというところですよ。で、
01:12:33	0 に設定している前田海脚西部等遠州断層系は、
01:12:41	87 ページにも、音波探査断面載せておりますけれども、衛藤。
01:12:47	海底面まで断層が、断層変異があるということが見えている断層という ことで、0 から 5 キロをそのまま検討しています。
01:12:56	88 ページの 18 については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:00	断層変位自体が0から2キロの範囲では見えていないというようなことを踏まえて、
01:13:06	そこの範囲を除いた、深さ2キロから5キロの範囲でパラメータスタディを実施しているというような考え方です。
01:13:17	はい。
01:13:18	で、この2キロから5キロの範囲で設定するとした時に、この
01:13:24	2、2.5。
01:13:26	で、飛んで5ってというのは、このは何か。
01:13:29	取り方ってこのこれはどういう、
01:13:32	考え方なんでしょう。
01:13:36	はい。中部電力の盛です。
01:13:39	02.55キロというのが土木学会での例示されているものですので、そのうち一番上側の
01:13:46	0というのがなくなったので一番浅いということで、5市は都築谷というのを設定しています。ちょっと近いんですけども考え方はそういう考え方
01:13:58	あれはどうか。はいどうぞ。
01:14:01	中部電力浜でございます。今堀井が説明したように、
01:14:04	書いてなくて、非常に読みにくいんで、ちょっとここ、日本語、適正化してきます。
01:14:13	土木学会自体でも、もともとその0から5を振るときに、0と2.5と5をやりましょうっていう考え方で、
01:14:21	これが、上端深さがお本社の場合は2キロしこれがもしかしたら1キロの断層もあるかもしれないし、産業も集まるかもしれないんだけど、そのときにどうするかなんていうのは、
01:14:32	そこまで土木学会に手厚く、
01:14:34	考えてくれているはずですよ、そこまでは書いてなくて0から5の間を間とった2.5キロっていう、やり方が書いてあるだけで、
01:14:44	英語18の場合は、0から2キロにないので、一番頭にある2キロっていうのに置き換えているということでちょっとそのように、
01:14:55	わかるように記載をして参ります。
01:14:59	はい。
01:15:00	というのとともにですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:03	これーそのまま断層変位が認められないそういう意味で、永久変位はないと。
01:15:09	いうことで、そういったものの扱ってのは何か土木学会のところに書いてありまして、
01:15:17	これは明日、ここは A 断層に永久変位がないので、これでよからうっていう御社の考えでしたっけこれ。
01:15:28	はい。中部電力の郷です。土木課も基本的には地質調査の情報に基づいてパラメータサジ範囲を設定するというのが基本方針というふうに思っていますので、見えないところについては
01:15:41	当然過去もこれから動くことが動いていないという、これまでも動いてないということです、
01:15:49	その範囲を除いて検討をしているというところについては、土木学会の考え方とは沿っているものというふうに思い
01:16:02	はい。ここの設定の仕方というのも、
01:16:06	考えは、
01:16:07	わかりました。
01:16:10	どうですかねこれ、いわゆる傾斜滑り角、上端深さと一応こう振ってるパラメータはここですけど、
01:16:20	その範囲内で何か、
01:16:23	不明な点とか聞いておきたいというある方おられますでしょうか。
01:16:35	はい。よろしいですか。
01:16:43	江田。とするとその考え方のもとでパラスタを、
01:16:50	やりましたという、
01:16:51	て、
01:16:53	90 ページからかな、89 ページからですかねパラスターが、やり方結果が出てくるんですけど、
01:17:02	何か所々補足的に実施とかっていうのが、
01:17:07	出てくる例えば 90 ページですかね、この補足的にっていうのが出てきて、何かこのパラスターのところではこんな説明が、
01:17:18	パラメータを設定する時ですかね、パラスタの範囲を設定する時にはなかったんだけど、
01:17:23	何か所々なんかやっぱりこうこうやっていたっていうのが出てくるんですけど。
01:17:29	これは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:31	最初のパラスタの振り幅が、
01:17:34	単にこれ小さかっただけなんじゃないですかっていう気もするんですが、
01:17:38	これは何か後でやっぱ出てくるもんなんですか、急に。
01:17:43	はい。中部電力の方です 90 ページのところの宮野補足的に実施というのがあるということかと思います。
01:17:51	こちら先ほど、 $\pm 10^\circ$ でいいのかというようなところの議論があるなということをもって補足的に $\pm 20^\circ$ までね。
01:18:01	実施してみたというのを載せてますけれども、先ほど大方針の方で $\pm 20^\circ$ まで滑り角を振った検討するということ、今考えておりますので、
01:18:12	この注釈も不要になるというふうに考えています。起振等滑り角を安全評価上、必要な幅で振って、その中で一番大きいものを探していくというような方針で、
01:18:24	綺麗に説明もできるというふうに考えています。
01:18:30	そうするとでも 90 ページのところ、あくまで、
01:18:35	基準、傾斜角基準プラス 10、
01:18:40	その今度滑り角基準プラス前の数十。
01:18:46	この辺りが一番大きくなりそうだったので、そのケースのみさらに補足的にもう少し滑り角を振ってみましたっていう流れですよ。
01:18:58	これは今の話だと傾斜角 -10 とか、傾斜角基準ってなってるようなもの。
01:19:05	これについても、
01:19:08	結局、滑り加工プラマイ 20 に置き換わる。
01:19:14	ということですか。
01:19:16	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りで他の傾斜角についても滑り角 ± 20 基まで検討、実施したいと考えている。
01:19:26	こちらの遠州断層系だけではなくて、他の、ごめん、遠州断層、植竹西部だけではなくて、58、遠州断層系についても同様に、検討を追加したいと。
01:19:40	それは何かこれからやる。
01:19:43	やってある結果を載せる。
01:19:47	はい。ちょっとここだけ補足的に実施するというのがちょっと我々も気になっておりましたので、今網羅的に並行して実施をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:54	今後、それを追加させていただきたいと思います
01:19:59	はい。何でやってるんだけれども、何か資料上、
01:20:02	ここの部分だけ、
01:20:04	ちょっと補足的にってちょこっとつけてしまっているんで、
01:20:08	それが前の方の考え方っていうか前回会合でいろいろでした。
01:20:12	どこまでの範囲あるのかをそこ考えクリアにっていうところとの関係で、
01:20:17	何か中途半端にこれ補足って1個だけ補足っていう形を出してるのが、
01:20:21	はい資料上仲野さん、確かに合わないということですね。はい。チームで頑張るんでございます。この資料自体が6月21日に出してるものですから正直言うと全部間に合っちはいなかった。
01:20:34	なんですけど、もう今、計算終わってますので表の方をしっかりと、
01:20:41	埋め直すっていうだけの作業です。
01:20:56	はわかります。そうすると、
01:20:59	次の、
01:21:00	おんなじように、滑り角を振って、傾斜角もそうなんですよね振ってる。
01:21:06	518 というのは、これも傾斜角は何で同じく基準プラマイ重度 D。
01:21:14	滑り角の欄が今基準プラマイ裕度なんだけど、これも、
01:21:19	220 までになるんですね。
01:21:25	はい。中部電力の前です。おっしゃる通りです。こちらもすべて
01:21:30	プラスマイナス 20 度まで掲載させていただきたいと思います。結果自体は変わらないと考えて
01:21:37	そういう変わったら当然載せるんでしょうからね。当然
01:21:43	この赤い赤い枠ピンク色の枠は変わらないけどっていうことですね。0 因習断層 94 ページは、これは、
01:21:52	先ほどの検討だと、何ていうか、プラマイ 4 度とか 7 とかその、そのぐらいまでの結果だったんで、これはこの表記のままなんですかね。
01:22:02	多分違うのかな。
01:22:05	はい。中部電力の盛です。遠州断層系についても、86 ページの方の方針として、プラスマイナス 20 度までにさせていただくのが、
01:22:15	いいか、綺麗な整理になるかなというふうに思っておりますので、こちら 94 ページのプラスマイナス 20 度まで、追加をさせていただきたいと思います。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:24	横ずれ断層なのでこちらはプラスマイナス 20 まで降ると結果自体は、乗り変わってくると思っています。今、
01:22:33	最も大きいのが遠州断層系ではなくて前田海脚西部なので、そちらを超えることはないんですけども、塗り、
01:22:40	赤色の塗るところは、やや変わってくるというふうに考えています。
01:22:46	すいません 94 ページの遠州断層今、多分それぞれ基準マイナス 10°、滑り角だと基準マイナス 10 度、
01:22:57	が一番大きくなってるんだけど、これをプラマイ 20 度まで広げると、
01:23:04	もしかしたら基準マイナス 20 度かもしれない基準プラス 20 度なのかもしれないですし、そこがチャンピオンとなるようなパターンが一応あるわけですか。
01:23:14	うん。
01:23:22	はあ。
01:23:24	出た。
01:23:26	その上で戻ると
01:23:31	残るが、断層上端深さを一番最後に、黒須で一番最終最後の欄に出てくるんですけど、
01:23:41	518 やっぱり、断層上端深さ 2 キロ、これが一番、
01:23:47	大きくなっているんで、これが最大ですと。
01:23:53	うん。
01:23:55	ということですね、これは 1 一番感度が、
01:23:58	はいはい。
01:24:02	ちょっとすいません全体の表記の仕方というか、考えてもらうとして、私は加工はもう同じくですね。
01:24:30	はい。
01:24:31	これで、河合活断層なんですけど、今日は特にあまり説明がなかった。
01:24:40	プレートないが、
01:24:43	ちょっと冒頭の組み合わせのところでも聞いたんですけど、
01:24:50	一応これは浜岡の
01:24:53	周辺っていうか南海トラフの方で起こる海洋プレート内のいわゆるアウターライズとしては、これは、
01:25:01	東方航空とかとメカニズムが違って、これは逆断層タイプですっていうのは、
01:25:06	これはここ D も出てくるんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:25:13	はい。中部電力の盛です。今回 54 ページに、概要と同様の断層タイプに関する情報ということで、
01:25:22	追加をさしていただいております。わかりましたねそうですねはい。
01:25:28	別にこれはこれで間違いないんでしょうし、
01:25:31	ただちょっとガイドとかでも言われているような、よく一般的に言われているようなものが、正断層なので、はい。ちょっとそこは混同しないように、こういう形で明確に書いてもらうっていうのは結構だと思う。
01:25:42	はい。
01:25:43	あとは、そうですね、ふー平面での振り幅だとかこういう話は、
01:25:49	前回、あれですかね。
01:25:53	の、前回の会合前の時の説明から特に変わってないそのときにも一応は一通り、
01:25:59	伺ってるので、特にプレート内のところで何か、
01:26:04	いておくことある方おられますか。
01:26:36	よろしいですかね。まずちょっと全体で細かいこと。
01:26:41	あればと思いますけども、
01:26:44	はい。
01:26:45	そうすると、
01:26:49	ちょっと待ってくださいね、講演会会合のコメント。
01:26:55	ううん。
01:26:56	ちょっと、資料の 3 ページで言うコメント回答との、
01:27:01	関係でいうと、
01:27:04	ちょっと今はこれ海洋プレート内地震の津波評価とし、いう項目で今挙げてますけど、
01:27:13	ちょっとこれは今の整理だと海域活断層組み合わせますとかっていう話もあるので、
01:27:20	ちょっと資料としては、組み合わせのところのコメント回答、今回、先に行って来回答すべきものみたいな整理で、資料そのものを切り分けるのか。
01:27:31	ちょっと章立てで切り分け、これ、後全体をコメント回答として切り分けるのかはちょっと工夫していただいたとしてですね、そこはよろしいですかね。
01:27:40	はい。一部でね鎌田でございます。はい。
01:27:43	別立てにするのかこの冒頭にくっつける。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:47	のかというのを少し考えていきたいと思いますここ、前回の審査のコメント二つあるんでこのあたりを冒頭でご説明した上で、後の本体に今日、
01:27:59	ご説明したような、今回の方は一気通貫で読めるというような整理にしたいなと思っております。
01:28:07	うん。もしくはもうシンプルにこれ地震プレート間以外の地震による津波の資料にして、
01:28:14	しまつてあまりその組み合わせの細かい考え方みたいなやつは、別出しのコメント回答でも結構ですちょっとそれは考えて、やり方は考えてください。はい。
01:28:24	承知いたしました。はい。もう1個がそうですね滑り角断層上のパラスタの範囲についてということで、
01:28:31	ちょっとここ少し、今日、考え方も伺いましたし、ちょっと不明確な部分は少し資料の方に書き出すなり、
01:28:39	後ろのパラスタ結果のところ、表の方ですね、評価の結果の方に++なり、されるということで、
01:28:48	それがあればですね、パラスタ範囲の充分性とかそういう議論ができるかなと。
01:28:55	ということです。プレート間の方はこれは、これはその前の会合ですね、なんで前回会合で更新伺った範囲で出た指摘というのはこれなので、
01:29:07	そうですね、議論に必要な、
01:29:11	材料というのは、
01:29:13	ほぼ入ってきたかなあと。
01:29:19	思いますはい。
01:29:21	じゃあ、
01:29:23	とですねえ、ほか。
01:29:27	補足は新たなものはないけれども、ちょっと細かい点も含めて、全体通して、
01:29:33	冒頭の組み合わせのところでも結構ですけども、
01:29:36	何かある方おられますでしょうか。
01:29:54	規制庁佐口です幾つか確認をさしてください。
01:30:01	ちょっと今日ご説明あったんですけども、9ページで、
01:30:06	あくまで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:30:08	御社としては、
01:30:11	同時発生しない。
01:30:12	と、これは考慮する必要がないと。
01:30:17	まずそういうお考え方って、いいです。そうした時に同時発生って何者だという話なんですけど。
01:30:24	後ろの方にちょっとだと思えますけど、
01:30:27	いわゆる連動という形っていうのが、御社の中では、同時発生という、
01:30:33	位置付け、
01:30:35	という理解でいいかどうかちょっと教えてください。
01:30:44	はい。中部電力の盛です。9ページのところですけれども、同時発生、要はどう、ほぼほぼ同じ時刻に発生して松波が重なり合うような発生ということです。で、
01:30:57	今回今同時発生の様式ということで、左の二つは、別地震としての同時の発生ということと、
01:31:07	あとは、9ページの方は、一連の破壊による一体性のあるような、いわゆる連動発生というようなものの二つを整理しています。で、
01:31:17	別の地震としての同時発生については考えないというようなことを整理しています。で、こちらは11ページの方でも少し記載させていただきました。内閣府
01:31:28	の考え方とも同じというふうに考えています。
01:31:32	個別の地震としての反省というのは、
01:31:35	想定していなくて一体性のある連動発生というのは、
01:31:39	そういうメカニズムが違う、一体性のある連動発生には想定していないということです。はい。以上です。
01:31:49	はい規制庁佐口です。さらに、それについて確認なんですけど、これって戸次さんでいうところの、
01:31:58	関係等、
01:31:59	どう違うのか、それとも一緒なのか。
01:32:03	ていうことですね。例えば8ページとかで、地すべり、
01:32:08	これは当然組み合わせますと御社は行っている。
01:32:12	で、地すべりって、同時発生って言うのかな、いわゆる連動なんですかねとか、その辺の関係も含めてそれは、
01:32:20	少なくとも同じ考え方で、今御社は整理をされているとそういう理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:02	はい。伊勢調節なんかすぐにお答えできないという話であればまた次回のヒアリングのときにでも、
01:33:11	お答えいただければいいと思いますけどあくまでも要求事項として別記3というのはどういうふうに書かれているか、それに対して、じゃあ今御社は地すべりと、それから海域の活断層ですね。
01:33:23	これについては連動連動を組み合わせ、組み合わせを考えますと、
01:33:28	その他については、組み合わせは考えませんという話ですけど、ちょっとそこはですね、もう一度整理をしていただいて、あくまでもその関係性と、あと、
01:33:40	敷地の地質地質でしたっけ。だからそんなそういうことを踏まえて、
01:33:46	どうかというところなのでその関係性が何かわかるといいかなというところでちょっと確認だけさせていただいたんですけど。
01:33:56	あと事例、事例はありませんよということで幾つか出していただいて、
01:34:02	いると思いますんでその一つが、
01:34:05	先ほど森さんから少し、
01:34:08	ご説明もあった11ページで内閣府ではこういうふうに例えば言われています。
01:34:14	ただ内閣府はあくまでもこれ別地震なんで、
01:34:18	一体性のある連動連動発生については、想定しない連動あくまで連動であって組み合わせではなくって、
01:34:27	それが御社は同じであるというお考えということを先ほどのご説明で、一応考え方は理解をしました。で、12ページなんですけど、
01:34:38	これって若干、
01:34:41	古いのかもしれないと思えということですね、一番右に南海トラフって、
01:34:49	基本的には正断層じゃなくて逆断層が、
01:34:53	発達するような地域で、
01:34:56	正断層は、
01:34:57	認められないとか、仲田2015とかありますけど、これって例えばですね御社自身で文献でこう言われてますっていうのは当然ありますけど、御社自身で、例えば、
01:35:09	実際に最近のものも含めて、
01:35:14	怒った。
01:35:16	ものって、例えば、このプレート、
01:35:21	の沈み込む。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:35:23	G 地域、
01:35:25	ですね、こういうところで起こった地震について、いくつか、規模の大きいものとか、
01:35:31	含めてピックアップしたら、やっぱり南海トラフだと、正断層型のが発生していなくて、逆断層をタイプのものしか発生して、
01:35:42	いませんよとかそんな例えば検討だったりそういうことってされてないんでしょうか。
01:35:51	はい。中部電力の森です。実際になかなか、
01:35:55	プレートにて地震が起こってないということはありますけれども、
01:36:00	12 ページのところでは、既往の知見ということで、9909 ですかね、クレーブ衛藤 2014、
01:36:09	ちょっと古いんですけど 1964 年から 1995 年の中で、海溝軸付近でどうい地震が発生しているのかということは整理されてまして、逆断層タイプの地震が基本起こっているだけだと。
01:36:20	いうなことが整理されています。で、
01:36:23	45 ページの方で
01:36:31	他に、
01:36:34	歴史記録も含めて最近までで、どういう地震が起こっているのかということは記載しております。
01:36:41	が、やっぱりあんまり起こってなくて、最近の 2004 年の紀伊半島沖地震が起こっているというようなところが追加になっているところかなというふうに考えています。
01:36:54	こちらの逆断層、断層タイプかどうかということについては、
01:37:03	50、例えばですけど 53 ページのようなインバージョン解析の結果から、0 欠我は 94 度だというようなことを掲載させていただいております。
01:37:13	はい。以上です。
01:37:17	はい。規制庁佐口です。そういうことですね。これ 2004 年とかのものなんですけど。ただ、あくまでも、この浜岡の近くで見れば、こうなのかもしれないんですけど、
01:37:30	南海トラフ全体で見た時本当はどうか、その南海トラフっていうのも、本当に地域性があるのかどうかってのもあるんですけど、
01:37:37	そういうのは、あくまでもこの 2004 年ぐらい。
01:37:41	もしか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:37:43	御社としては検討されていないと。
01:37:45	ということでよろしいです。
01:37:53	はい。中部電力の森さん。45 ページの通りで、
01:37:58	主な地震としてはこれしかないというふうに考えています。
01:38:03	はい。規制庁佐口です。あと 13 ページですねこれはあくまでも御社の考えをお聞きしたいんですけども先ほど少し鈴木からもあったんですけど、
01:38:12	結局、この 40 分後に発生していてそれが正断層型の
01:38:19	ものであったと。で、文献とかではですね、この定常的な海溝軸付近の正断層地形の伸張場の影響に、
01:38:30	投光器地震の影響も重なって発生したと。で、少し何かもともとそういう状態があって、最後の 1 押しじゃないんですけど、
01:38:40	それにちょっと加わったことで、発生したというふうに何か文献で言われてるみたいなどころなんです。結局ですね、
01:38:49	御社としては、その何分とかいうのは別として、
01:38:54	結局、
01:38:55	この
01:38:57	正断層型の地震ですよ。開業遅れたような地震は、東北沖地震との関連性という意味では、関連をしているのか、それとも全く関連していないのか。
01:39:09	どちらと考えていらっしゃいますか。
01:39:17	はい。中部電力の盛です。津波の組み合わせを考える津波評価上としての関連性はないというふうに考えています。当然事象として、東北沖地震が起こって、
01:39:29	原因と結果は何でも繋がってますので、
01:39:32	起こってそれが先ほどご説明したような応力変化を通じて余震が起こるということは当然メカニズムとしてはあるんですけども、
01:39:40	津波評価上組み合わせるような時間差で、同時発生するというような関連性はないというふうに考えて、
01:39:49	はい規制庁佐口です。そのあたりですね。だから結局その辺りと戸次さんの関係がいまいちよく、
01:39:57	今資料ではわからないというのと、そうすると 14 ページでまとめてあるんですけど、結局のところですよ。
01:40:04	御社は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:40:06	同時発生したことが確認された事例もないという、
01:40:09	ところを、
01:40:11	主たる根拠。
01:40:13	生きてるのかな。
01:40:15	その前にもありますけどね。
01:40:18	結局どうということかっていうと
01:40:22	メカニズム的に関連性は何かあるもの。
01:40:25	なんだけれども、
01:40:27	いや、そもそも、南海トラフってというのは、そもそも正断層がないからいいんですって。
01:40:33	言いたいのか。
01:40:35	それとも、もう、
01:40:40	プレート間地震と海洋プレート内地震ってというのは、
01:40:44	全く因果関係というのか関連性はないものですよということが、結局言いたいのか、どちらなのでしょう。
01:40:57	はい。中部電力の盛です。前者ではないということです。衛藤。
01:41:01	事例がないからやらないということではなくて、9ページでも整理させていただいておりますけれども、
01:41:10	これ、
01:41:10	左の二つですね、プレート間地震と、
01:41:15	海洋プレート内地震或いは内陸地殻内地震というのは、それぞれ応力の蓄積と、その開放というのは、メカニズムがある別地震ですので、
01:41:25	そういうものの連動というのは、可能性が低いということで、津波評価上考慮しないというふうに整理しています。
01:41:38	はい。ひとまず考え方自体はお聞きしました。
01:41:45	あとですね、
01:41:47	いくつか、
01:41:49	あったんですけど、今日、
01:41:52	説明あったのか72ページで、
01:41:55	これ
01:41:56	左下の、
01:41:57	これちゅ注意書きというか、※3で、
01:42:03	基本的に、御社としては阿部の予測式のところに、
01:42:08	何かこう、海域と陸域と跨っているような断層については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:13	海域のみを考えればいいんですということが、何か書かれているわけではなくて、あくまでも、
01:42:22	陸域じゃなくて回避、
01:42:25	だけを考慮すればいいというのは、
01:42:28	御社のお考えというところで、まずよろしいですね。
01:42:35	はい。中部電力の友利です。おっしゃる通りです。例えば陸域に全部あるような断層が動いたら津波が発生するののかということもありますので、こういうふうに海域部分の、
01:42:46	断層のモーメントで考えるのは合理的というふうに考えています。
01:42:54	はい。規制庁佐口です。
01:42:56	で、あくまでもこれは簡易予測式上の、
01:43:01	話であって、
01:43:03	じゃあ、実際の
01:43:05	津波評価をどうするのかというと、
01:43:08	それが、
01:43:10	4 ページにおと機能、
01:43:12	何か後ろの方で、
01:43:15	あった。
01:43:17	もうすぐそのすぐ後ですね 70。
01:43:21	4 ページとかで、
01:43:24	実際に波源モデルはどう設定されるかということ、
01:43:31	断層長さ、
01:43:33	これ 31 ですね、間予測。
01:43:36	と違う値が、
01:43:38	あって、
01:43:39	それを計算をしていくと、例えば基本モデルでいうと 81 ページとか、
01:43:45	敷地前面だけで見ちゃうと、
01:43:48	まず上昇側、御前崎海脚。
01:43:52	西部、4.7 メーター
01:43:55	一番大きいですね。
01:43:57	確かに簡易予測と同じような結果になってます。
01:44:00	遠州断層系の地震っていうのは、72 ページの会議館予測だと、2 メーターぐらいでほぼほぼ同じぐらいなんですけど、
01:44:09	だったのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:44:10	実際に計算をしてみると、
01:44:14	この 81 ページでは 2.4 メーターという、半分ぐらいになってしまいました。
01:44:19	で、むしろ、
01:44:21	72 ページ、一番小さかった 5、18 断層っていうのは、
01:44:26	2 番目ぐらいになってしまいましたということで、この関係ですよ。
01:44:32	何かこれ。
01:44:34	簡易予測式でこうだけど、実際に計算したら、そうじゃないかな。なくなりましたというと、本当にこの間予測で、予測式で、
01:44:44	いわゆるこれスクリーニングですよ。これが本当に正しいのかっていうのは、我々ちょっとごめんな作動どう判断していいのかわからないんですけど、ちなみにこれ、
01:44:54	会期分、
01:44:56	だけではなくてですね 72 ページ、陸域部も含めて、要は全体の、
01:45:01	断層長さで、
01:45:03	検討された結果じゃないんですけどそういう検討ってされているんですかね、結局の間予測式って。
01:45:10	地震モーメントから換算していくので、
01:45:14	当然長さが長くなれば地震モーメントを大きくなって、
01:45:19	津波高ってもう最終的な角津波だけっていうのも高くなると思うんですけど、
01:45:23	その辺りってどう考えてますでしょうか。
01:45:27	はい。中部電力もちょっと、ちょっと 2 点ほど前提を再度ご説明させていただきたいと思いますすみません繰り返しのになってしまえばおっしゃってください。
01:45:38	まず、72 ページ、当間 74 ページですけども、こちらパラメーターとしては基本的にそのものを設定します。衛藤。
01:45:47	72 ページの 50 条 8 断層の表を見ていただくと、3、断層長さとしては、
01:45:54	31 キロで、地震モーメントとしては、 4.2×10^{-19} 乗で、
01:46:01	津波の予測式に、評価上、安倍の促進評価上入れるものとしてその右側に数字を載せさせていただいているというものです。こちらの阿部の少し入れる前の地震の長さだとか地震そのもののモーメントの想定というのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:46:17	72 ページと、74 ページの方にも同じように 31 キロだとか、 4.2×10 のマイナス 19 乗ということで、同じ数字を載せています。で、
01:46:27	例えばこの 74 ページに、平面図で、断層の波源までお示ししてありますけども、これの回帰部分と陸域部分とあって、阿部の福土に入れ込むのはこのうちの、
01:46:40	海域部分の面積の部分だけをモーメントとして、簡易予測式に入れ込んでいるというようなことを 72 ページには書いて
01:46:48	江藤もう 1 点、
01:46:51	遠州断層系の
01:46:54	松波が予測式よりも小さくなっているということについてなんですけどもこちらは断層タイプの影響というふうに考えていまして、遠州断層系は横ずれ断層で、西部とも 58 は逆断層ということなので、
01:47:10	同じ地震規模でも津波の発生効率が横ずれだと、小さいということは一般的に言われることだと思いますんで、その関係で、
01:47:21	72 ページでお示し占部の予測式はそういう
01:47:24	横ずれだからだとか、逆断層だからというのを考えないような式になっていますので、そこで入れ、入れかわりというか、
01:47:32	規模が極端に大きくなったり小さくなったりということはないと思いますけども、数字としては入れ替わっている原因としてはそういうところとを考えています。
01:47:40	で、檀さんタイプ選んでいるというところもそうところにありまして、逆断層タイプはきちんと押さえているということと、横ずれタイプについても、評価をして、その影響が小さいということを確認できているというふうに考えて、
01:47:54	ます。
01:47:54	で、その上で、衛藤。
01:47:59	回帰部分についてだけではなくて全体で検討するとどうなるのかということなんですけれども、
01:48:07	今、72 ページで、海域部だけ選んでいるというのが、518 と 17 断層の二つになっております。で、
01:48:17	こちら
01:48:20	前のページに、断層 71 ページに断層の位置ということで、浜岡原子力発電所の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:28	西側に、10番の18と11番の17断層というふうに載っておりますけれども、いずれも同じような場所に、南北方向の断層ということで、
01:48:43	認定している断層になります。
01:48:45	で、これを
01:48:47	例えばということで会期分の長さを、そういうやり方をせずにやるとしても、
01:48:54	58の方が、A-17断層よりも、安部の予測式の津波高自体が、
01:49:01	大きくなるというようなことは確認しておりますので、そういう意味でも、後18と17、
01:49:08	58を評価しておけば、17の断層の影響についても代表できるというふうに考えています。
01:49:14	以上です。
01:49:19	はい、佐口です。そうすると、いや私そこまで実はお聞きしてなかったんですけど。
01:49:25	基本的には今、この簡易予測式で、
01:49:30	選んだ三つを、
01:49:34	やっておけば、基本的には漏れがないような、そういった検討になっていると、そういう理解でよろしいでしょうか。
01:49:44	はい。中部電力の盛です。そのように考えております。
01:50:06	東前規制庁続けちょっとそれはさっきのプレート内のところで、すいません、思い出した。
01:50:12	そういう補足説明ですかね。
01:50:16	宇田。
01:50:19	伴。
01:50:20	39とかでもいいんですけども、
01:50:22	伊豆
01:50:23	伊豆湖周辺、
01:50:25	これは、
01:50:27	だけどあの南海浜岡の周辺は逆断層しかないんですけど言いつつ、
01:50:34	これは単に場所が、海溝軸外が外にあるからということで一応、
01:50:40	銭洲よりも影響が小さいんですけどかっという、
01:50:44	御前崎よりも影響が小さいんですけどっていう説明のところで出てるコウイズこ周辺は、
01:50:50	これわあ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:51	判例見ると、
01:50:54	正断層とか横ずれなんですけど、これは扱いはどうなるんですたっけ。
01:51:00	これ先ほどあったその南海トラフのところでは正断層 5 は、
01:51:04	甲斐、
01:51:06	ないんだというのの説明の外になるんですかねこれ。
01:51:13	はい。中部電力の森さん、ここは南海トラフの沖合というよりはもう、
01:51:20	伊豆小笠原っ子の島弧地殻ができているところということなので、はい。ここはだから別、口として見ればよくて単に一応、ガイド上海溝軸の外にある海洋側の、
01:51:32	近くで起こるものが、
01:51:35	評価対象になっているので、遠いところを見れば当然、
01:51:39	南海トラフから外れて、
01:51:41	いるものも入るんでそっちでは正断層がありますよってということですね。はい。
01:51:45	そう理解しておけばいいんですね。はい。
01:51:48	あれ。
01:51:57	は、
01:51:59	本当何。
01:52:19	規制庁佐口です。
01:52:22	ちょっと素人素人的な、
01:52:26	ちょっと発想というか、
01:52:28	確認になってしまうんですけども、
01:52:32	80 何ページか。
01:52:36	5 ページとか 6 ページのところ、結局その滑り確定で御社これまで、
01:52:43	傾斜角と、
01:52:44	関連をしますよという、
01:52:47	説明があって、
01:52:49	そう。そうするとですよ。
01:52:52	すごく何か素人単純な考えになる。
01:52:56	ですけど、先ほど少し谷の方からも確認しましたけれども、
01:53:01	傾斜角が±10 度だったら、
01:53:05	滑り角って、今の、
01:53:08	±流動に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:11	さらにその傾斜角との関係を思われるとさらにプラスマイナス 10 度になるんじゃないかなと、なんかすごくですね、素人的に考えてしまうんですけどもそこはあんまり、
01:53:24	何て言うんすか傾斜角が変わっても、
01:53:27	それに対する、滑り角の変動幅っていうのは、
01:53:32	特に大きな違いはないと、そういう御説明のということによろしいんですかね。
01:53:41	はい。中部電力の盛さん。次回、その辺りの資料も追加させていただきますけれども、
01:53:48	例えば、85 ページで見ていただくと、
01:53:53	左上の図で、前田海脚西部の断層の位置を示しています。で、
01:53:57	こちらの傾斜角がどうなるのかということなんですけど、ちょっと小さいかもしれないけど赤い矢印でプレートの沈み込み方向を書いてありまして、ほぼほぼそれと、整体するような方向で、前田海脚西部だったり、58 の断層が、
01:54:12	あります。で、この傾斜角は多少こうねたり立ったりしても、あまりこの方向との関係で小滑り角が変わるという感じではないということは少し見ていただけるかなと思っています。
01:54:24	で、
01:54:25	下側、左下がちょっとポンチ絵書いていますけれども、青い矢印で断層位置での使用力方向というのを書いてまして、
01:54:33	それに対してこの赤い断層面というのが少し寝たり起き上がったりすると滑り角がどう変わるのかということですので、こちらの計算で出ますので、それを次回以降お示しさせていただきたいと思っておりますけれども、
01:54:46	傾斜が柔道へ上がると、滑り角がずっと上がるかというところまでの間ではないということを確認
01:54:55	はい。規制庁、佐口です。わかりました。次回その辺りですね、資料と一緒にまたご説明いただければと。
01:55:02	思いますのでよろしくお願いいたします。
01:55:14	はい。
01:55:15	強いですかねすみません、途中で佐口のところで話があった基準ガイドなり、ガイドにも、
01:55:21	解釈別記 3 にも同じことを書いてますけど、
01:55:24	どうだったか慣れる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:26	別記 3-2 ですかね。
01:55:29	津波発生要因に係る敷地の地学的背景、
01:55:33	及び津波発生要因の関連性を踏まえて、
01:55:37	プレート間地震金谷の組み合わせについて考慮することなんで、これについて、
01:55:42	この観点ではこの観点でアポっていうのをもうちょっとクリア。
01:55:45	くださいという、そういうこと。
01:55:48	はい。中部電力ものでした。
01:55:50	おっしゃる通り、すみません。ガイドと一緒にだったんで、
01:55:54	地学的背景と勝見間瀬の関連性っていう観点で、当社としてどう考えるかというところが読み取れるような、
01:56:03	文章に
01:56:04	適正化したいと思っております。
01:56:07	はい。お願いします。はい。
01:56:10	火山とかだと、こういうところが非常に、
01:56:13	わかりやすいと思うんです。
01:56:16	そもそも火山と地震と同時発生っていうと、
01:56:19	同時発生というかまあ、多分発生要因の関連性がありませんみたいなのが、割とクリアな事象だと思うんですけど。
01:56:25	1回みたいなやつもね。そうですね。はい、わかりました。一通り、これでよろしければ、ヒアリングの方は、
01:56:34	終了としてちょっと資料としてはどうですかね。
01:56:38	ただ、新しく何か解析するわけではなくて当然ながら、ちょっと手元にある解析データを表に出したりとか、あとは考え方をもう少し明確になるように
01:56:50	修正したりと。
01:56:52	いうところかとは思いますが、今日はすみません何。
01:56:57	13日の木曜日、
01:57:01	汚泥。
01:57:03	あと来週月曜日は、
01:57:05	旗日なので、ちょっとどのぐらいのタイミングで、
01:57:09	資料が出てくるかというのとそれに応じて、ちょっともう1回ぐらい話は、中身を確認させていただきたいかなと。
01:57:17	そうですね。はい。個人的に思ってますけど

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:57:20	最終、
01:57:23	20日とカーに出させていただいて24の週にヒアリングいただいて4日審査会合ぐらいに測っていただけるとありがたいというふうに考えてますが、
01:57:34	ずっと女大幅な修正ではないのと他の分野に比べれば、
01:57:41	資料のプレート間とかに比べればですね、渥美山田そうなんでもないの で、
01:57:47	じゃあ、一応来週、ちょっとここはMaaS持ち帰って作業をどのぐらいかかるかっていうのも考えていただいて、
01:57:54	また、ヒアリングを申し込んでいただければと思いますけども。はい。 来週の後半に資料が出ていってその翌週ヒアリング。はい。
01:58:04	いうのを、ヒアリングということで申し込んでくるという予定ですね。 はい。
01:58:09	わかりました。ちょっと念頭に置いておくようにします。はい。
01:58:14	よろしければ、
01:58:16	一応ヒアリング終了したいと思いますけど、よろしいですかね調整官谷 さん道口さん。
01:58:22	よろしいですか。
01:58:25	では、ヒアリングの方は以上で終了したいと思います。お疲れ様でし た。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。